

臨床研究情報

当院で、下記期間中に脳卒中の入院治療を受けられ、発症時 59 歳以下であった患者さん・ご家族様へご協力をお願い

NTT 東日本関東病院脳血管内科では、以下の臨床研究を実施しております。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者に当たると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究にご自身の診療記録を使用して欲しくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の問い合わせ先、もしくは倫理・医療監査委員会事務局へご連絡ください。

研究課題名

60 歳未満の勤労者の脳卒中発症リスクを高める要因に関する研究

研究実施機関

NTT 東日本関東病院脳血管内科

研究責任者

主研究者：山岡由美子（脳血管内科研修生；元脳血管内科医長）

指導者：大久保誠二（脳血管内科部長）

研究の意義と目的

意義：勤労者の脳卒中の発症予防について研究することは、高齢化が進行し労働人口の減少が、現在もまた将来にわたって大きな問題となっている我が国において、脳卒中で失われる労働人口を減らして労働力を確保する一助となります。研究により発見された問題点の改善をめざすことは、60 歳未満の勤労者の脳卒中発症予防につながり、脳卒中で失われる労働人口の低減に貢献します。

目的：独居・単身赴任（平日独居）が、60 歳未満の勤労者の脳卒中発症を高めるか、またどのようなメカニズムで発症のリスクが高まるかを明らかにすることです。

対象となる方

2008 年 9 月～2017 年 12 月に、発症 72 時間以内の脳内出血か脳虚血症（脳梗塞と一過性脳虚血発作）と診断されて入院し治療を受けた、発症時 60 歳未満（59 歳以下）の方

実施方法

対象者の入院時の、年齢・性別・身長・体重と、生活形態(独居・単身赴任か同居か)・高血圧・高 LDL-コレステロール血症・糖尿病・(発作性)心房細動の有無とその治療状況、および現在喫煙・毎日飲酒の有無を、データとして収集し、独居・単身赴任群と同居群にわけてデータをまとめ(たとえば高血圧があった人となかった人というデータのまとめ方)、統計学的手法(単変量解析)で二群を比較しました。

また、対象者全体を脳卒中群とし、健診群(2009年5月から2015年5月に予防医学センターを受診した60歳未満の受診者;データ取得の同意は健診受診時の同意書で取得済み)のデータと比較しました。

上記項目のデータを収集する時点で、個人を特定できる情報は取得していません。

実施期間

データの収集は2019年3月(山岡が医長として在籍していた期間)までに終了し、その後にデータの取りまとめ作業と論文出筆に必要な論文の収集を行い、現在は、脳血管内科研修生として、論文の出筆を行っています。

個人情報取り扱い

前述のとおり、収集したデータは、収集した時点ですでに個人を特定できる情報(氏名や診察券の番号)を全く含んでいません。

また、本研究に関わる記録・資料は3年間保管し、保管期間終了後、本件急に関わる記録・資料は破棄します。

費用

無

利益相反

無

同意の撤回

対象となられた患者・ご家族様には、勤労者を脳卒中から守るための本研究に是非ともご協力いただきたいところではありますが、研究対象に該当する本人またはその代理人の求めがあれば、入院時に収集させていただいた上記データを、研究から除外します。データの使用をお断りになっても、患者ご本人が、治療に不利益を受けることはありません。

問い合わせ窓口

NTT 東日本関東病院 脳血管内科 大久保 誠二

東京都品川区東五反田 5-9-22

電話番号 03-3448-6111

倫理・医療監査委員会事務局

運営企画部 総務担当 木村・金久保・藤本

電話 03-3448-6651